



新型コロナウイルス感染症の若者への影響 (タジキスタンの場合)



健康のための 学生の活動

学生ボランティアが、新型コロナウイルス感染症の予防に関する重要情報の地域伝達に貢献。ある地域では、病院、地域の困っている人たちに食料や医療品を提供するために「連帯基金」の募金活動も展開。



経済支援

大統領令により医療従事者にボーナスが支給され、多くの若手医師や医療従事者がその恩恵を受けた。



医学生の参加

医学生がパンデミック対策に参加。上級生はボランティアとして医療従事者や病院を手伝い、下級生は新型コロナウイルス感染症に関する意識向上に向けた戸別訪問キャンペーンや検査、データ収集に協力。



雇用創出

若者は非正規セクターで働くことが多く、パンデミック時に最も失業しやすい存在である。タジキスタン政府は国家経済の安定に重点を置き、2020年には若者を多く雇用している農業部門と建設部門を中心に約20万人の雇用創出を推進。



若者の意識向上

青年・スポーツ委員会は、系列機関内に新型コロナウイルス感染症本部を設置し、青少年を対象とした全国啓発キャンペーンを調整。



若者主導の 意識向上

若者たちは、ユースフォーラム、情報キャンペーン、フラッシュモブなどを通じ、新型コロナウイルス感染症の予防について他の若者たちとコミュニケーションをとる上で重要な役割を果たした。



タジキスタン北部のある若者グループは、新型コロナウイルス感染症の予防に関するラジオ番組を制作。この番組は学校の休み時間に校内放送され、若者たちによるウイルス拡散を防ぐのに役立った。